



学校にまた元気な声に戻ってきました

爽やかな秋風が吹き、校庭の桜の木から落ち葉が舞う季節になりました。8・9月は全国的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、学校は4週間以上にも及ぶ自宅学習となりました。そして10月4日（月）、みんなそろっての登校となりました。

さて、小学生のみなさんは計画的に自宅学習に取り組めたでしょうか。土浦市では、3年生以上に1人1台のGIGAスクール端末（タブレット）が配られ、オンラインによる授業が始まりました。当初は準備が不十分だったため、戸惑った人が多かったことと思います。また、保護者の皆様にも、環境等の整備や子供たちへのサポート等にご協力いただき、ありがとうございました。

本日、全員登校となり、真鍋小学校にまた元気な子供たちの声に戻ってきました。まだまだ新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況ですが、職員一同、子供たちの健康、そして安全を最優先に考え、学校運営に取り組んで参ります。これからもご協力お願いいたします。



9月30日（木）撮影

2学期始業式 リモートで行いました

10月4日（月）、改めてリモートによる第2学期の始業式を行いました。始業式では、代表児童による作文発表（2学期の抱負）がありました。2人とも2学期のめあてを具体的に、そして堂々と発表することができました。とても立派な発表でした。

代表児童 5-2 松崎央人 さん
3-4 松崎 怜 さん

始業式では2つの約束をしました

校長式辞の中で子供たちと次のような約束をしました。



2学期にがんばってほしいことが二つあります。

一つ目は一人一人が自分の目標を持つこと。勉強でも運動でもいいと思います。コロナ禍でもがんばれることは必ずあるはず。目標に向かって担任の先生のアドバイスをよく聞き、友達と協力しながら、がんばってほしいと思います。

二つ目は新型コロナに注意して落ち着いた生活をする。新型コロナは1学期までとは少し違います。今まで以上にうがい、手洗い、マスク着用などに心がけ、落ち着いた生活をしていきましょう。

文科省 「GIGAスクール構想」 って何？



現在、文科省は「GIGAスクール構想」というものを進めています。それは、児童生徒に1人1台の端末とネットワークを整備し、より一層充実した教育活動を推進していくとするものです。また、今後の新型コロナウイルス感染症による臨時休業等も見据え、さらに加速させているところです。

土浦市はこの度の自宅学習期間をきっかけに、3年生以上にGIGAスクール端末（タブレット）を配付し、長期の自宅学習における学びの保障を目標に始動しました。しかし、今回の第5波は予想外に急激で、長期の自宅学習になったため、土浦市も急ピッチで環境整備を進めました。そして現在はGIGAスクール端末（タブレット）を使って、同時双方向型オンライン授業ができるようになってきました。

「GIGAスクール構想」は、行政、学校、家庭が一体となって進めていくことが重要となります。これからもご理解、ご協力をお願いいたします。



校長室より 「新型コロナ より一層の注意を！」

本格的に2学期が始まりました。教室を訪問し、笑顔で授業を受ける子供たちを見ているとうれしい気持ちになると同時に、やはり対面の授業はいいな、と思います。

真鍋小学校では2学期の学校行事として、遠足や校外学習、修学旅行、そしてスポーツフェスティバル（運動会）等が予定されています。このような行事は子供たちがとても楽しみにしている活動であり、大きな成長につながる大切な活動です。実施にあたっては、今後の感染状況や授業時数の確保等を十分に考慮し、最善の方策をとっていきたいと考えています。

茨城県の感染状況はステージ2となり、やや落ち着いてきました。でも、子供の感染が多く報告されている「デルタ株」は少し心配です。これまで新型コロナウイルスが小学生に感染することは少なかったのですが、「デルタ株」が流行してからは、全国各地の学校で感染の報道をよく耳にします。学校ではより一層の注意が必要であると考えています。ご家庭でも、さらに感染予防に心がけ、健康観察等を丁寧に行っていただければ幸いです。学校と家庭が協力して子供たちを見守っていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。